



出発進行!!

JR 三角線開通120周年記念式典 開通120周年を祝う

12/21 三角町のJR三角駅で、三角線開通120周年記念式典が開催され、関係者や地元の園児らが参加しました。JR九州の赤木由美熊本支社長が「地域の皆さんと一緒にまちを盛り立てていきたい」とあいさつ。その後、「A列車で行こう2号」の出発式が行われ、守田憲史市長と木村信治三角駅長の合図で発車した列車を園児約50人が旗を振りながら見送りました。



一斉に上げられた判定の旗に熱気を帯びる会場

宇城市第5回論語カルタ大会 繰り広げられた熱戦

12/25 松橋小学校体育館で、論語カルタ大会が開催されました。この大会は、市が進める論語の素読・音読教育の一環として毎年実施しているもので、市教委の主催。今大会には、市内の小学校4年生から中学校2年生までの116人が参加。小学生個人戦、中学生個人戦、小学校団体戦、中学校団体戦の4競技で、熱戦が繰り広げられました。



高橋さん(中央)と指導者の白峰先生(右)

小川町の高橋和風さんが第60回熊日書道展でグランプリ 書道の魅力を伝えたい

1/15 小川町の高橋和風(本名:高橋和歌子)さん(54)が市役所を訪れ、守田憲史市長に熊日書道展でグランプリの熊日賞を受賞したことを報告しました。同展は県内書家の研さんを目的に毎年開催されており、高橋さんは漢字「涼夜」で応募。349点の中から頂点に輝きました。書道教室も開いている高橋さんは「もっと多くの子どもたちに書道の奥深い魅力を知ってもらいたい」と述べました。



質問に笑顔で答える真壁さん

地域の底力向上研修会 東日本大震災から学ぶ復興

1/16 地域の底力向上研修会が開かれ、災害公営住宅建設地区の嘱託員や民生委員・児童委員などが参加しました。県と県社会福祉協議会の主催。東日本大震災の被災者を支援する宮城県サポートセンターの真壁さおりさんが、被災地における地域の福祉力の重要性を説明。不知火町御領五区の松尾恵介区長(69)は「参考になる事例を学べた。できることを取り入れていきたい」と話しました。

かもめ子育て支援センターで親子ヨガ 深呼吸で世界が変わる瞬間を

12/18 不知火町のかもめ子育て支援センターで親子ヨガが開かれ、親子9組18人が参加しました。参加者は、講師の齋藤希世子さん(36)から「5回深呼吸すると世界は変わる。呼吸するだけでストレスも変化する」などと説明を受けながら、子どもと一緒に体を動かしていました。松橋町の松野祐梨杏さん(32)は「硬い体がほぐれて、リラックスできて良かった」と満足そうでした。



子どもと楽しく体を動かすママたち

松橋町の倉岡國夫さんが陸上選手権で金メダル 来年の世界大会出場を視野に

12/20 昨年12月にマレーシアで行われたアジアマスターズ陸上選手権クチン大会で、80~84歳部門の80mハードル、200mハードル、走り幅跳び、三段跳びで金メダルに輝いた松橋町の倉岡國夫さん(80)が市役所を訪れ、守田憲史市長と平岡和徳教育長にメダル獲得を報告しました。倉岡さんは「何より、大会で出会う仲間との交流が楽しみ。令和2年の世界大会にも出場したい」と意気込みを語りました。



4つの金メダルを獲得した倉岡さん(中央)

宇城市初! JAL 折り紙ヒコーキ全国大会予選会 長〜く飛べ! 滞空時間を競って

12/21 折り紙飛行機の飛行時間を競うJAL折り紙ヒコーキ全国大会の熊本地区予選会がウイングまつばせで行われ、82人が参加しました。折り紙ヒコーキ協会(広島県福山市)の主催で、日本航空株式会社の特別協賛。参加者は、折った紙飛行機の翼を曲げるなど調整し、記録を競い合いました。小川町の岩見宗志郎さん(7)は「緊張した。来年は7秒以上飛ばしたい」と次の大会に意欲を見せました。



全国に向かって飛んでけ〜

響原復興住宅で交流イベント 温かいサポートにほころぶ顔

12/21 豊野町の響原復興住宅で地域交流イベントが開催され、復興住宅や地域の住民らが参加しました。市とUR都市機構が協力し、市地域支援センターが主催。参加者は、宇城市にまつわる〇×クイズなどを楽しんだ後、食生活改善推進員協議会のヘルスメイトが調理した豚汁と炊き込みご飯で温まりました。また、応援に駆け付けたくまモンに子どもたちは大喜びでした。



「みんなの家」の前に集合〜♪

◆市ホームページには、たくさんの写真と詳しい内容を掲載しています。